

想いをこめたモノガタリから、 新しい“つながり”が生まれます

モノは子どもの成長や子どもへの想いを支える大切なパートナー。
そんなモノの記憶で作られる、かけがえのない子どもの物語を、
パパママはもちろん、家族や友人とも共有できるアプリ。
それがコドモノガタリです。



iPhoneアプリ『コードモノガタリ』



5月11日
iPhoneアプリリリース



「モノガタリ」機能：
タイムラインで表示して
子どもの成長記録に



「モノゴコロ」機能：
モノのコレクション、管理。
ギフト時の参考にも



「ファミリー」機能：
家族でいつでも情報共有。
夫婦コミュニケーション促進



「シェア」機能：
Facebook等の友人に情報
シェア



無料アプリ/iPod touchでもネット接続で利用可能/商品DBはAmazon APIを使用

リアルな育児経験から企画した アプリで解決を目指す、 子育てにおける3つの課題

コドモノガタリは代表の前田が2011年に生まれた実子の育児経験に基づき、子育てにおける以下の課題解決を目指して企画、開発しました。

- (1) 使えなくなったベビーグッズの処理
- (2) スマートフォンで撮りためた写真の保存方法
- (3) 産後の夫婦間のコミュニケーション促進

使えなくなってしまうベビーグッズ、どうしていますか？

赤ちゃん誕生を祝って、贈ってくれたベビーグッズ。子どもの成長を祈って買ったグッズ。大事に使いたいけれど、いつかは使えなくなる。

使った思い出をモノに記録、シェアすることで、モノを贈った甲斐、使った価値を高めます。



持っているグッズをリスト化できます



使った思い出を残すことで、モノにモノゴコロが生まれます



グッズを贈ってくれた友人に、お礼の印として写真を送ることができます

スマホの子どもの写真、もっと素敵に整理しませんか？

赤ちゃんが生まれてからの数年間は、多分、あなたの人生で最も写真を撮る時期。でも、不思議とフォトブックや現像するとなると腰が重くなります。コドモノガタリでは、物語絵巻のように写真を表示することで、成長記録としていつでも見返せるようになります。

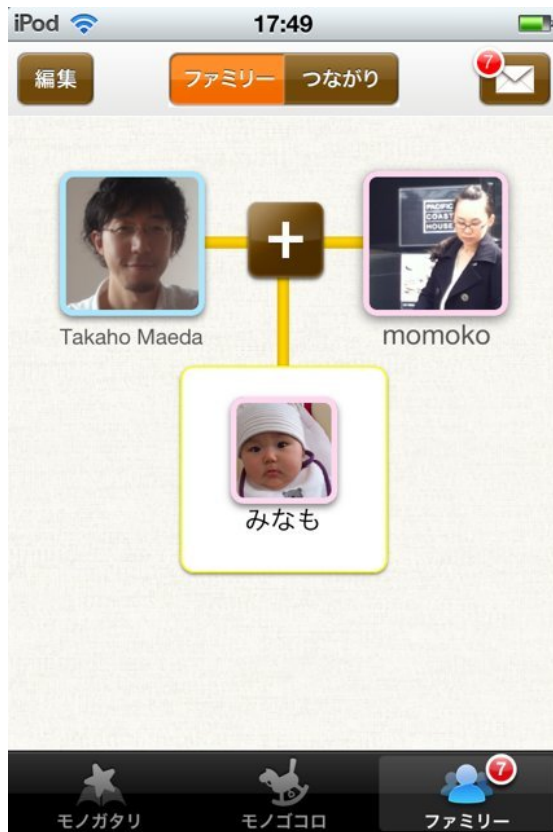


背景デザインは自由に着せ替えることができます。

モノは子どもの物語のキャラクターや道具として登場します。

産後の夫婦のコミュニケーション、取れていますか？

子どもが産まれると、夫婦間の会話をする機会が激減し、子どもに接触する時間の格差が、育児における情報共有を妨げます。子どものモノガタリを夫婦でつくることで、パートナーの子供への関心、関与度合いや、夫婦のコミュニケーションを促進します。



モノガタリは家族でつくりましょう
(夫1人だけ、妻1人だけでも利用できます)



リアルタイムでコミュニケーションを
取ることができます

**日本の伝統的な価値観や文化と、
これからのSNSの潮流を意識した
コドモノガタリの3つの特徴的な機能**

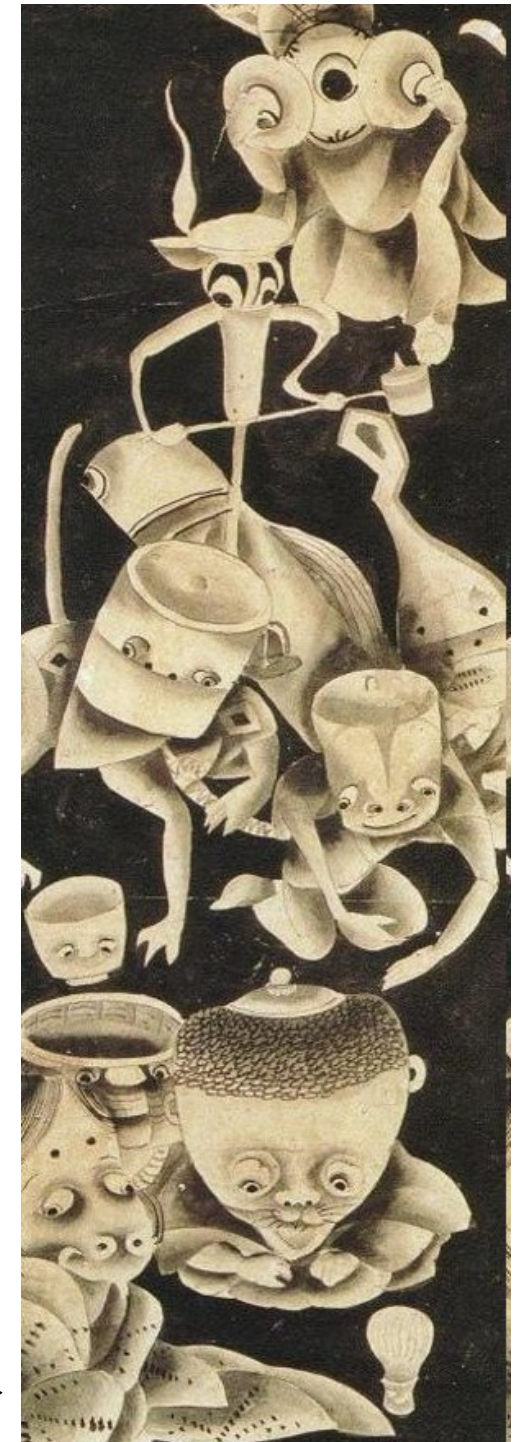
モノとヒトの関係をシェアワセに モノゴコロ機能

日本には古来より、**長い年月を経て古くなった道具には、神や精霊が宿る**と考えられてきました。この考えは、長く役に立ってくれた道具に対する感謝の心として解釈されています。

モノゴコロは、モノに使った思い出を記録していくことで、そのモノへの愛着を残し、シェアするための機能です。買った甲斐、使った甲斐を感じることで、モノの価値を高め、モノとヒトとのシェアワセな関係を築きなおしたいと考えています。



つくも
伊藤若冲『付喪神図』→

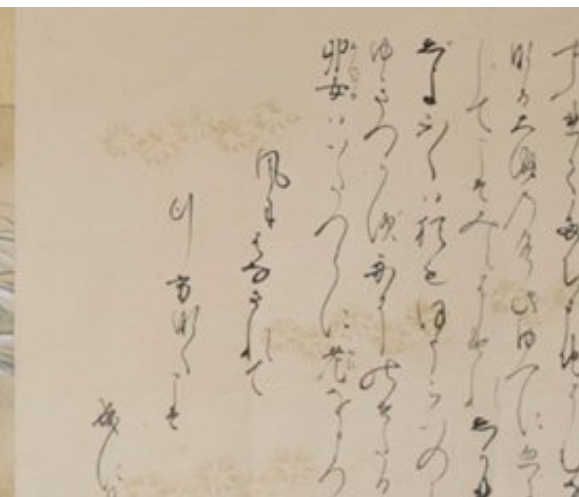


子どもの成長を絵巻物風に見返す モノガタリ機能

モノゴコロで記録した思い出を、時系列に並べ替えると、子どもの成長記録となります。写真と文字で表現する時、日本には「物語絵巻」という独特の様式がありました。

モノガタリ機能では、子どもの物語にモノが「キャラクター」や「道具」として登場し、あなただけの物語を美しく、ステキに彩ります。

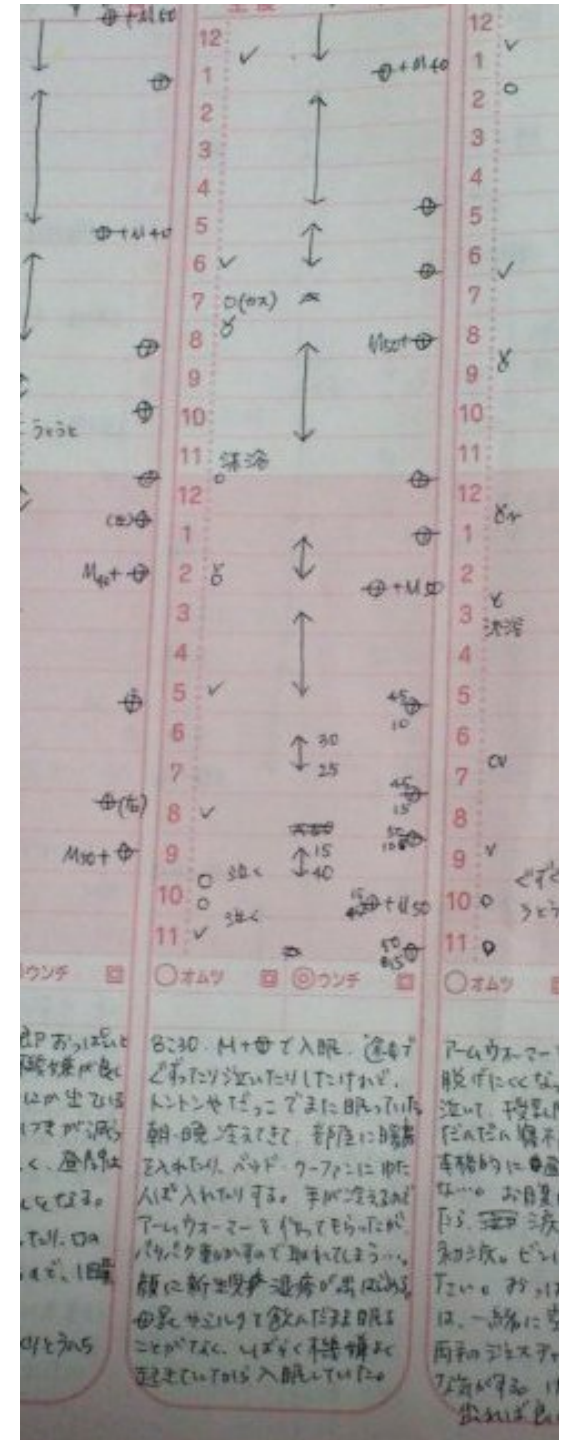
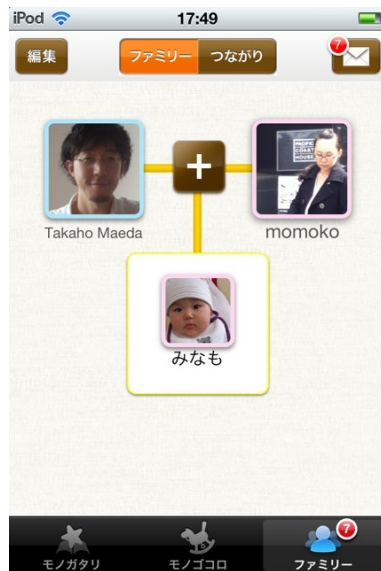
『蓬萊物語』↓



夫婦のためのクローズドSNS ファミリー機能

産後、多くの母親がつける育児日誌。そこには子育てにおける悩み、焦り、喜びが書かれているはずです。ところで、父親は帰宅後こうした事を共有できているでしょうか？
夫も妻も、共に疲れて話ができないかも知れません。そもそも時間がないかも知れません。

コドモノガタリのファミリー機能は、家族で1つのモノガタリを作り許可しない限り、夫婦以外の誰にも見られることはありません。手軽に、安心して夫婦のコミュニケーションを取ることができます。



アプリリリース後の事業展開、活動予定

コドモノガタリを通じて蓄積されたデータを活用し、既存の事業会社、団体とのアライアンスを通じて、以下の関連サービスを企画、実施して参ります

＊モノにまつわる記録を共有して、不要になったベビーグッズのシェアリングサービス

＊投稿されたモノガタリデータで作る、フォトブックなどのプリントサービス

＊投稿された写真データを元に、手芸作家に写真雑貨制作を依頼できるCtoCサービス

＊産後夫婦のコミュニケーションや、育児に関するノウハウなどの情報配信

＊夫の育児参加や育児における夫婦コミュニケーションを促進するための調査活動(下図)

その他活動実績：



イクメンを育児、家事の協力実態と参加意識で6タイプに分類。画一的な「理想のイクメンイメージ」から、労働環境や価値観によって、様々な育児のスタイルがあることを分析、提言しました。



ベビーグッズの物々交換イベントを、都内ママサークルとコラボ開催。子どものおもちゃ工作や、アコーディオンブック制作、スマホで上手に子供を撮る教室なども実施予定。

会社概要

設立日 :2012年1月17日
所在地 :東京都港区北青山3-3-11 ルネ青山ビル8階
URL :<http://kodomonogatari.com>
事業内容 :スマートフォンアプリ「コドモノガタリ」の運営
マーケティングに関するリサーチ、コンサルティング及びプロモーション関連事業
役員 :代表取締役社長 前田考歩
主要株主:株式会社エムワープ(株式会社マクロミル連結子会社)

コドモノガタリに関するお問合せ先:

メール:info@kodomonogatari.com

電話:03-5474-5001(株式会社エムワープ内)

Facebookメッセージ:<http://www.facebook.com/messages/kodomonogatari>



前田 考歩 (マエダ タカホ)

職務略歴:主に新規事業の企画立上げと運営を中心に行う。

2006年、TOYOTAの販売店支援事業「Gazoomura」。2008年、デスクトップウィジェットを活用した映画のネットチケット販促企画「ハリウッドウィジェット」、2009年、映画情報アプリ「myシアター」に参画。2011年、娘の誕生をきっかけに「コドモノガタリ」を企画。

個人プロジェクトとして東京都杉並区の学校教育コーディネーターや、同区の防災アプリなどを企画、開発。

ブログ:『コドモノガタリのモノガタリ』 <http://kodomonogatari.blogspot.jp/>